

## 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価（生活交通確保維持改善計画に基づく事業）

令和5年1月 日

協議会名： 二本松市地域公共交通活性化協議会

評価対象事業名： 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回（又は類似事業）の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点（特記事項を含む）
昭和タクシー株式会社  岩代地域コミュニティバス3系統	・自治体広報による利用促進	<p>【前回の評価結果】 市内には鉄道、路線バス、コミュニティバスが運行していますが、各公共交通の接続がうまくいっていない便が判明したため、それぞれの公共交通の接続について再度検討し利用者が使いやすい公共交通になるように修正していく。 新たな公共交通計画の策定のため、引き続き利用者調査と運行事業者からの意見聴取を行い、路線の見直しの検討、更には利用実態に応じた路線の統廃合等、抜本的な見直しの必要性についても検討していく。</p> <p>【評価結果の反映状況】 ・路線バスの利用者へアンケート調査を行った。乗り換えの有無、利用に関しての意見などを現在集約している。 ・市民の公共交通に関する状況や意見を集めるため、人口比で地域別年齢別に2000名を抽出しアンケート調査を実施。約900名から回答があり、意見の集約を行っている。 ・市内で社員の通勤バスまたは宿泊者送迎を行っている事業者に対しアンケートを実施。公共交通に新たな客層を想定するため実施。現在意見の集約を行っている。 ・各アンケートを通して、令和6年の地域公共交通計画の策定及び路線の見直しを行っていく。</p>	B 計画に位置付けられたとおり実施されていない点があった。	C 【目標値】年間7,834人 【実績値】年間6,178人（うち補助対象路線：年間6,051人） 【達成率】78.9% 新型コロナウイルスの影響と、人口減少の影響により、通学利用者の高校生が減少、また高齢者無料乗車事業で利用が見込まれる75歳以上の利用者も大幅に減少したことから、目標値に届かなかった。	・各所への時刻表及びチラシ配布による広報を実施し、利用促進を図る。 ・各公共交通に関するアンケートを基に、利用者が使いやすい公共交通になるように修正していく。ただし、令和5年度に安達東高校と二本松工業高校が統合し、安達東高校に在籍している現在の生徒が卒業すると岩代地域での公共交通の利用者が大幅に減少することが予想されることから、その影響を踏まえて路線の再編成を検討する。

※枠の大きさの変更は可能です。